



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本電設工業株式会社

コード番号 1950 URL <http://www.densetsuko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土屋 忠巳

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 島村 幸典

TEL 03-3822-8811

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	48,288	0.2	1,203	△39.8	1,564	△37.8	670	△48.7
28年3月期第2四半期	48,184	13.7	2,000	—	2,514	822.1	1,306	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △263百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 1,666百万円 (△26.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	10.90	—
28年3月期第2四半期	21.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	193,552	134,764	64.7
28年3月期	218,084	136,572	58.3

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 125,208百万円 28年3月期 127,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	25.00	25.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,100	2.2	14,060	△2.0	14,820	△3.8	9,280	△1.8	150.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	65,337,219 株	28年3月期	65,337,219 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	3,864,311 株	28年3月期	3,864,286 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	61,472,922 株	28年3月期2Q	61,473,160 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 部門別受注・売上高(連結)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、景気は弱さも見られるものの、政府や日銀による経済・金融政策の効果などを背景に、雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外景気の下振れ懸念など依然として先行きが不透明な状況でありました。当建設業界における受注環境は、公共投資は底堅い動きとなっているものの、民間設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられました。

このような状況の中で、当社グループは営業体制の強化を図り、グループを挙げて新規工事の受注確保に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の連結受注高は714億円（前年同四半期比110%）となり、連結売上高は482億円（前年同四半期比100%）となりました。

利益については、連結営業利益は12億3百万円（前年同四半期比60%）、連結経常利益は15億64百万円（前年同四半期比62%）となりました。また親会社株主に帰属する連結純利益は6億70百万円（前年同四半期比51%）となりました。

なお、当社グループの業績の特性として、販売費及び一般管理費等の固定費は1年を通して恒常的に発生するものの、売上高は第4四半期に集中する季節的要因があります。

(2) 連結財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間における流動資産の残高は、1,185億62百万円（前連結会計年度末は1,418億32百万円）となり、232億70百万円減少しました。減少した主な要因は、有価証券（156億99百万円から214億97百万円へ57億98百万円増）及び未成工事支出金等（226億11百万円から429億84百万円へ203億73百万円増）が増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等（818億61百万円から319億7百万円へ499億53百万円減）が減少したことでもあります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間における固定資産の残高は、749億90百万円（前連結会計年度末は762億51百万円）となり、12億60百万円減少しました。減少した主な要因は、投資有価証券（332億16百万円から313億68百万円へ18億47百万円減）が減少したことでもあります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間における流動負債の残高は、425億13百万円（前連結会計年度末は647億25百万円）となり、222億12百万円減少しました。減少した主な要因は、支払手形・工事未払金等（452億49百万円から269億36百万円へ183億13百万円減）及び未払法人税等（43億89百万円から6億88百万円へ37億1百万円減）が減少したことでもあります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間における固定負債の残高は、162億74百万円（前連結会計年度末は167億86百万円）となり、5億11百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産の残高は、1,347億64百万円（前連結会計年度末は1,365億72百万円）となり、18億7百万円減少しました。減少した主な要因は、利益剰余金（1,032億42百万円から1,023億75百万円へ8億67百万円減）及びその他有価証券評価差額金（104億52百万円から91億84百万円へ12億67百万円減）が減少したことでもあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年4月28日に公表しました通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成28年6月24日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給が決議されました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給に伴う未払額157百万円を長期未払金として固定負債の「その他」に含めて計上しております。

なお、一部の連結子会社については引き続き、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づき計算をした当第2四半期連結累計期間末における支給基準の100%相当額を役員退職慰労引当金として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	15,565	16,876
受取手形・完成工事未収入金等	81,861	31,907
電子記録債権	—	204
有価証券	15,699	21,497
未成工事支出金等	22,611	42,984
繰延税金資産	2,568	2,334
その他	3,531	2,758
貸倒引当金	△5	△2
流動資産合計	141,832	118,562
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	17,732	17,602
土地	13,960	14,091
その他(純額)	4,774	5,327
有形固定資産合計	36,467	37,021
無形固定資産	4,528	4,390
投資その他の資産		
投資有価証券	33,216	31,368
繰延税金資産	861	984
その他	1,203	1,250
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	35,256	33,579
固定資産合計	76,251	74,990
資産合計	218,084	193,552
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	45,249	26,936
電子記録債務	—	2,386
短期借入金	400	400
未払法人税等	4,389	688
未成工事受入金	3,206	5,866
完成工事補償引当金	37	38
工事損失引当金	699	737
賞与引当金	5,339	3,164
役員賞与引当金	74	10
その他	5,327	2,285
流動負債合計	64,725	42,513
固定負債		
役員退職慰労引当金	221	95
退職給付に係る負債	13,096	13,227
その他	3,469	2,952
固定負債合計	16,786	16,274
負債合計	81,512	58,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,494	8,494
資本剰余金	7,792	7,792
利益剰余金	103,242	102,375
自己株式	△1,789	△1,789
株主資本合計	117,739	116,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,452	9,184
退職給付に係る調整累計額	△944	△847
その他の包括利益累計額合計	9,508	8,336
非支配株主持分	9,324	9,556
純資産合計	136,572	134,764
負債純資産合計	218,084	193,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
完成工事高	48,184	48,288
完成工事原価	40,376	40,983
完成工事総利益	7,807	7,305
販売費及び一般管理費	5,807	6,101
営業利益	2,000	1,203
営業外収益		
受取利息	24	12
受取配当金	291	316
その他	226	109
営業外収益合計	542	438
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	28	76
その他	0	1
営業外費用合計	28	78
経常利益	2,514	1,564
特別利益		
固定資産売却益	10	-
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	12	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	13
減損損失	13	-
固定資産除売却損	21	36
特別損失合計	34	50
税金等調整前四半期純利益	2,491	1,513
法人税等	896	593
四半期純利益	1,595	920
非支配株主に帰属する四半期純利益	289	250
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,306	670

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,595	920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△1,270
退職給付に係る調整額	113	96
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△9
その他の包括利益合計	71	△1,183
四半期包括利益	1,666	△263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,369	△501
非支配株主に係る四半期包括利益	297	237

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別受注・売上高(連結)

①受注高

(単位 百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	比較増減	比較増減率 (%)
鉄道電気工事	33,856	35,475	1,618	4.8
一般電気工事	20,735	24,471	3,736	18.0
情報通信工事	10,132	10,782	650	6.4
そ の 他	526	745	219	41.7
合 計	65,250	71,474	6,224	9.5

②売上高

(単位 百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	比較増減	比較増減率 (%)
鉄道電気工事	28,795	27,971	△823	△2.9
一般電気工事	12,406	13,917	1,510	12.2
情報通信工事	5,947	5,212	△735	△12.4
そ の 他	1,034	1,186	152	14.8
合 計	48,184	48,288	104	0.2

(注) 1. 「②売上高」の「その他」は、不動産業及びビル総合管理等の関連事業、ソフトウェアの開発及び電気設備の設計等を表示しており、「①受注高」の「その他」には、不動産の賃貸・管理等は含まれておりません。

2. 記載金額は消費税等抜きで表示しております。